



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 102号 2010.7.17 発行 社会政策研究所

三夜連続放送！ハートネットTVを紹介します。

・NHK 教育テレビ 7月26日(月)~28日(水) 午後11時30分~11時54分 【kobi】

「生きづらさ」にあふれた今の時代を生き抜くために。

この夏、ハートネットは新たなトライアルに挑みます。三夜連続で放送する「ハートネットTV」。障害、こころの病、ひきこもり、身近な人の自死...きびしい現実と向き合いながら、それでも新たな希望とつながりを見つけたい。そんな思いを番組とwebで発信していきます。

26日「第1夜 ア・リアル(仮)」 : 芸人・響が重度障害者のリアルな生活を疑似体験。「障害者」と「健常者」の間のバリアをあぶり出し、互いに分かり合うためのきっかけを探ります。

27日「第2夜 ささやかなよろこび(仮)」 : うつや摂食障害などで、生きることへの強い不安を抱えながら、日々の暮らしの中に「ささやかなよろこび」を見だしている若者たちの姿を通して、生きるための希望を探ります。

28日「第3夜 朗読ドキュメント『自殺と向き合う』(仮)」 : 日本の自殺者数は12連続で3万人を超えています。ハートネットの「自殺と向き合う」に寄せられた声に耳を傾け、その背景にある思いに迫ります。

その中から 響のア・リアル「障害のある生活」

7月26日放送予定の「ハートネットTV ア・リアル」。番組では、芸人・響の長友さんに重度身体障害者の役に、相方の小林さんにヘルパー役になってもらい、数日間の共同生活を送ってもらいました。

【1】食事編 食事を作ってもらう

<体験後>長友心の叫び 「自分のペースでガツガツいきたいですね」

【2】入浴編 プロのヘルパーの介助で体を洗う

<体験後>長友心の叫び 「ぼくは(障害者に)なってないんで嫌だなと思うかもしれない。でも嫌だ嫌だじゃ多分生活できないと思いますんで、嫌だからいいですって感情ではない気はしますよね」

【3】外出編 気晴らしに外へ

<体験後>長友心の叫び

「(外出は)ストレス発散にはなりますけど新しいストレスも出てきますし、何にせよパーフェクトな事は一個もなかったですね」

何をしてもヘルパーの助けを必要し、ロケ最終日には、泣きも入るほど心身ともに疲弊した長友さん。

そこまで追い込まれても「きっと障害者の方の気持ちの10分の1ぐらいしか分かっていないんじゃないか」と長友さんが述べた実感こそが、一つのリアルだった気がします。

そんな2人の生活を切り取った3つの「リアル」な映像をどのように感じますか？

お楽しみに

以上